# 武　一　中

令和３年２月１６日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ２－１６号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/


# 青梅マラソンとの出会い

校　長　　中嶋　建一郎

私は青梅市に勤務したことで青梅マラソンと出会いました。平成 23 年 4 月から 31 年 3 月までの間に途中別な市に行きましたが、合計 6 年間勤めました。職場に出場者がいたこともあり、せっかく青梅市で働いているのだから有名な「青梅マラソン」に出場しようと考えました。初出場は 24 年 2 月で、その後エントリーできなかった大会以外は、毎年 10 ㎞のレースにエントリーしています。雪で中止の年もあったので、去年が 7 回目の出場です。

私は小学 5 年生から中学 1 年生頃までとても太っていました。運動は嫌いではなかったのですが、長距離を走るのは苦手でした。息は切れるし、横っ腹が痛くなるし、股ずれもできました。当時通っていた大島町立第一中学校には、男子は 5 ㎞のマラソン大会がありました。1 年生の時は、最後の 3 人のうちの 1 人となり、皆の拍手で迎えられました。応援の拍手なのですが、複雑な気持ちだった記憶が残っています。

中学 2 年生の頃から肥満は解消し、高校生になった時には、長距離走は苦ではありませんでした。都立大島高校の体育の授業では、三原山に上る道を走りました。あの中学時代は何だったのだろうと思えるくらい楽に走ることができ、タイムを縮めようと努力したことを覚えています。教員になってサッカー部の顧問をしている時には、審判免許の更新のため国立競技場で 12 分間走をしました。副校長時代は、元旦に 7 ㎞のコースを走る初日の出マラソンという地域の行事に出ました。思い出すといろいろ走っています。

マラソンの魅力の一つに達成感があります。登山にも似たような達成感があります。達成感はある程度の時間と苦労や辛さの先にあるような気がします。ちなみに、ボールペンや消しゴム、ノートを使い切る達成感も好きです。

練習や本番で辛いときには、同じように、またはそれ以上に辛い思いをしている人を思い浮かべて、「このくらいたいしたことない」と思いながら走ります。私の娘はフルマラソンに出場しています。フルマラソンは 42.195 ㎞なので私のペースだと 4 時間以上走ることになります。10 ㎞の 1 時間なんてたいしたことないと思えます。

さて、去年の結果は、53 分 51 秒、自己記録では 5 番目です。練習の重要さを思い知らされるものでした。年上の人たちにどんどん追い越されるのです。恥ずかしながら、練習は、50 分間走を 4 回、20 分間走を 1 回行っただけでした。

私のように中学時代は苦手なことでも変わることがあります。この先の人生、何があるかわかりません。出会いを大切にしてみてほしいと思います。もし、青梅マラソンと出会ったら、一緒に走りましょう。

１６日放送朝礼より

※今年の青梅マラソンは延期になりました。